

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社 ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき 2階ユニット
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成22年6月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

外出(外食、温泉など)や花をいけたりの楽しみごとの支援、水分補給にもきをつけている。知的障害のかたにはその方に合わせたケア・対応に気をつけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

調査訪問時、昼食のモヤシの下ごしらえをされている利用者がみられた。当日は、畑で収穫されたキュウリやナスが食卓に上っていた。視力が弱い方も、ご自分でスプーンを使ってごはんを食べておられ、副食は、職員がメニューや食材について説明しながら介助されていた。食後に食器を洗っておられる利用者もあった。

季節のお花見や毎日の散歩、時には温泉や外食でお寿司を食べに出かける等されている。体力や体調のことで散歩や外出がむずかしいと思われる時には、外のベンチに座り外気に触れることが出来るように工夫されている。外出を喜ばれない方が動物園へ出かけた際、ご本人はとても喜ばれたようで、それを見た職員も「とてもうれしかった」と話しておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 2階ユニット

記入者(管理者)

氏名

榊原あや

評価完了日

22年 6月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域とのつながりも大切と思うが、入居された方への理念となっている。	
			(外部評価) 事業所は「共に歩み、共に生きる」の理念を掲げ、利用者の暮らしを支えておられる。前回の外部評価を受けて地域密着型サービスの意義を踏まえた理念について、全ての職員で話し合われた。職員からは「地域も大切であるが、利用者も大切であり、現在の理念のもとに利用者の地域での暮らしを支えて行きたい」との意見でまとまったようである。管理者は「必要となったら理念を変えて行く」ということを職員とともに決めておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 隣近所とは挨拶などのつきあいがある。地域の事情で回覧板などはなし。	
			(外部評価) 地域の清掃活動に職員が参加されたり、門扉の前には地域の人達に利用していただけるように「ゴミ出し場」を設けておられる。時には、利用者が気ままに出かけているのを近所の方が教えてくれることもある。又、近くにある小学校の運動会を見に行かれることもある。	地域性等のこともあり、事業所では、ホームのことや認知症の理解、又、交流にむずかしさを感じておられる。事業所から地域との関係作りへの取り組みを、さらに一歩すすめられるように、これまで培ったネットワーク等も活かして取り組みをすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 社協の方の案で、地域で徘徊の方がおられたら、かがやきに連絡下さったら、包括支援センターにこちらで連絡しますといった旨の、おしらせを店や支所にはらせてもらえるようにお話するが断られた。地域性もあり、対応難しい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>出席してくださった方の意見は報告し、できることは 取り入れている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議では、事業所の行事や避難訓練の様子、職員研修 の内容等について報告されている。民生委員の方か ら、お花のきれいな場所を教えていただいたり、市の 担当者からは、ご家族や地域の方へも会議に参加いた だけるよう呼び掛けを行うことや開催時間等について アドバイス等もいただいた。事業所でのケア等、対応 が困難な事例を提示して、助言をいただき対応の参考 にされた。</p>	<p>現在、ご家族への会議のお知らせは、毎月の便りの中 に同封されているが、出席いただけのご家族は少な い。地域の方にも会議に出席いただけるよう「民生委 員の方と相談して情報をいただくようにしたい」と話 されていた。さらに、会議の内容やメンバーの工夫 等、事業所のサービスの質向上につなげていけるよう な会議の開催になるよう工夫を重ねていかれてほし い。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議のときなどに連絡・相談させていただ いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時に、ケアについて情報やアドバイスを もらったり、普段も、書類作成や介護保険のことで質 問や相談をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関の施錠、身体拘束は行っていない。施設内研修を 年1回行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の身体拘束や虐待についてのマニュアルに沿っ て、勉強会を行っておられ、全ての職員が出席でき るよう数回に分けて勉強会をされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ユニット会などで話し合いしたり、施設内研修を年1回行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、制度を利用されている方がいない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に不安、要望をおききし、説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者様、家族様の意見は取り入れるように勤めている。運営推進会議の日時をお知らせし、外部の方と施設について話せる機会ができればと考えている。 (外部評価) ご家族の来訪時や電話で要望や悩み等を聞き取っておられるが、ご家族のご事情等もあり、ご家族が集まるような機会が作りにくいようである。	 医療面も含め、ご本人の重度化のことや利用者間のトラブル等の対応等について、ご家族が困っていることや心配なこと、気付いたこと等を出しやすいような機会や雰囲気作りの工夫を重ねていかれてほしい。又、サービス評価の意義や目的等を分かりやすくご家族に説明されたり、家族アンケートの結果や評価結果を分かりやすくご家族に示して、事業所をよくしていくためのご意見を具体的にうかがっていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	職員の希望で勤務時間を変更したり、問題点は話してもらい、できるものから解決するようにしている。
			(外部評価)	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	みんなが気持ちよく働けるようにと考え、日ごろの話しの中や研修時の取り組みなどで職員の努力の把握に努めている。残業の給与反映、昇給、
			(外部評価)	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	施設内研修を毎月実施。勤務に無理ない範囲で外部研修も受けてもらっている。
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	地域でのグループホーム同士の勉強会に出席している。
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	安心していただけるように努めている。
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の相談時から、何が一番困っているかを聞くようにしている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人様、家族様にとって一番必要なことを考えるようにしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>暮らしの中で、利用者さんができることはしていただいている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>すべての家族様とではないが、連絡・相談して知恵をお借りしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>以前から通っている絵画教室に行かれる方、週1回家族と散歩に行かれる方、週1回は食事介助にきてくださるご家族さんもおられる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>月1回、以前利用されていた施設の絵画教室に通われている利用者がおられ、職員が送迎されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 努めているが、全盲の方、難聴の方の交流が難しい。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居されてから連絡をくださるご家族もおられる。つとめて行きたい。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日ごろの関わりのとき、アセスメント時などに希望、意向を聞き取るように努めている。 (外部評価) 2月の市の実地指導の際にアセスメント表の充実について指導をいただき、事業所では現在、センター方式を活用して取り組まれている。利用者の「体調を良くしたい。夜、よく眠りたい。歩かんと歩けんようになってしまっけん歩く」等、利用者の思いや意向を、日々のかかわりの中や居室でご本人とゆっくりお話する時間を作って、聞き取っておられる。言葉を発さないような利用者は、表情や手や足の動き等からご本人の思いを把握するようにされている。ご家族が来られる時にのみ、お好きなタバコを楽しむ利用者がいる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日ごろのかかわりのとき、ご家族さまからのお話を聞くなど、把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族様の意見を取りいれるようにし、現状にあった計画になるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご本人から意向を聞き取ったり、ご家族の要望を来訪時や毎月のお手紙等で聞き取り介護計画に反映されている。見直しは、おおむね半年とされているが、毎月モニタリングを行い、必要に応じて随時見直しをされている。「タバコだけが楽しみなんよ。タバコを吸う時は昔の辛かった事を忘れられるんよ」と言われる方は、体調や安全等を踏まえて、これまでの習慣を続けられるように支援する計画を立てておられた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録やユニットの伝達ノートで情報共有できるようにし、実践やプランの見直しに活かせるように努める。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人、ご家族さまの状況にあわせ、要望にこたえられるように努める。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 支援している。 (外部評価) 2週間毎に協力医の往診があり、緊急時にはいつでも 対応してもらえるようになっている。整形外科医や歯 科医の往診も受けられるようになっている。利用者 個々のかかりつけ医への受診は、ご家族が付き添うよ うになっているが、ご家族の都合に合わせて職員が同 行されている。協力医の受診の際には、職員が同行さ れている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 支援している。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で けるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 努めている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 過去に看取りをさせていただいたことがある。ご家族 さま、ドクターとの話し合い・連携を大切に、取り 組んでいった。 (外部評価) 事業所は看取りを支援した経験もあり、ご本人、ご家族、医 師との話し合いのもと取り組まれた。ご家族は「病院へ」と 希望されたが、ご本人が「ここにおる。病院はいや」という 意向であり、ご家族が毎日ホームに来られて、ともに看取ら れた。「職員には不安があったが、ご本人の希望をかなえる ことが出来て良かった。医師、家族、職員の連携して看取り が出来、ご家族からも感謝された。」というような職員から の意見も出て、学ぶことが多かったようである。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) すべての職員が実践力があるとは言えない。施設内研修で身近な事故(やけど、誤嚥など)について勉強行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は行っている。地域との協力体制が整っているとは言えない。 (外部評価) 消防署立ち会いのもと、夜間想定避難訓練に取り組まれた。年1回、事業所は自主避難訓練を行っておられる。運営推進会議では、民生委員の方が「手伝うことを教えて欲しい」と協力の申し出もあり検討されていた。管理者は、他グループホームのスプリンクラー工事を見学され、今年度中には、スプリンクラーの設置を計画されている。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日ごろから配慮するように話し合いしているが、できていないところがあると思う。 (外部評価) 事業所では、月1回内部研修に取り組んでおられる。管理者は「勉強会を行うことに声掛けや対応が良くなります」と話されていた。調査訪問時、食事中に排泄を訴えた利用者に、周囲にわからないように誘導されたり、トイレから出ようとされた利用者に職員はそっと後ろから服装を直しておられる場面も見られた。	「大きな声でのトイレ誘導や食事時等、さらに配慮が必要な場面もある」と管理者は話しておられた。又、居室のポータブルトイレやおむつ等、介護用品の整理、配慮が必要な場面等も見受けられた。この機会に職員個々で気付きを出し合い、点検してみてもどうか。又、運営推進会時やご家族等にもご意見をうかがいながら取り組みをすすめていかれてほしい。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その方のリズムを大切にするように気をつけている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 洋服、髪型の希望をきくようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事は一人一人の希望のメニューが食べられるように考えている。準備や片付けはできることをしてもらっている。 (外部評価) 調査訪問時、昼食のもやしの下ごしらえをされている利用者がみられた。当日は、畑で収穫されたキュウリやナスが食卓に上っていた。視力が弱い方も、ご自分でスプーンを使ってごはんを食べておられ、副食は、職員がメニューや食材について説明しながら介助されていた。食後に食器を洗っておられる利用者もあった。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの声かけ・実施行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) ご本人の様子観察行い、支援している。 (外部評価) 職員は利用者一人ひとりの排泄の状態を把握して、昼間は紙パンツでトイレ排泄をされたり、夜間のみポータブルトイレを利用する方もいる。退院後、紙パンツを使用されていた利用者が排泄への意欲がみられ、支援を重ねて布パンツへ改善された事例もある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘が悪化しやすい方はケアプランにてマッサージをいれる、ほかの方も牛乳、野菜の摂取、運動、水分の摂取状態などにきをつけ、便秘予防に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ご本人の希望を聞いて入浴してもらっている。 (外部評価) 夜間を除く時間帯には、いつでも入浴が出来るようになっている。ご自宅で入浴拒否をされていた人が、歩行状態が改善され、今ではご自分が歩いてお風呂場まで行かれるようになった例もある。畑仕事の後には必ず入浴やシャワーができるよう支援されている。入浴を嫌がる利用者も2～3日に1回は入浴していただけるようにタイミングや声掛けなど工夫して支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間に不安になられる方には添い寝をしたり、落ち着かれるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている。薬が変更になったら、専用のノートに記載し、全スタッフに伝達するようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 全ての方ではないが、手芸、縫い物、日常の家事(洗濯、配膳、清掃)で役割を担っていただいている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 全ての方ではないが、買い物、温泉、外食、カラオケなど希望の場所に出かけられるように支援している。	
			(外部評価) 季節のお花見や毎日の散歩、時には温泉や外食でお寿司を食べに出かける等されている。体力や体調のことで散歩や外出がむずかしいと思われる時には、外のベンチに座り外気に触れることが出来るように工夫されている。外出を喜ばれない方が動物園へ出かけた際、ご本人はとても喜ばれたようで、それを見た職員も「とてもうれしかった」と話しておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花を飾ったり、庭で育った野菜をみてもらったりしている。空調、音などは不快にならないよう気をつけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>スロープの付いたウッドデッキから畑に行けるようになっていた。玄関内にはソファがあり、おしゃべりしながら過ごされたり、食後にたばこを吸っておられる方も見られた。調査訪問時には、新聞を読んでいる利用者の姿も見られた。テーブルには、あじさいが生けられてあり、畳のコーナーでは、利用者が洗濯物をたたんでいる様子もうかがえた。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2階の方は事務所前のソファ、玄関前のソファ、玄関外のベンチでやすまることがある。</p>	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居時から、ご本人の使い慣れた物、好きな物をもってきていただくように支援している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には使い慣れた机や椅子があり、俳句を作る時等に使用されている。テレビ、時計、加湿器、扇風機等、個々が過ごしやすいように準備されている。ご家族の写真が写真立に飾られてあったり、ご自分で作った貼り絵作品やマフラーを編んでいる方もあった。毎朝、利用者が仏壇にご飯とお茶を供えることが続けられるよう、職員がサポートされている。いろいろな種類の服や帽子を持ち込んでいる方もあった。</p>	
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できることはしていただけるよう働きかけている。利用者さんも状態によっては難しい場合もある。</p>	